

岡山市長 大森雅夫様

岡山市監査委員 岸 堅 士
同 土 居 幸 徳
同 赤 木 一 雄
同 高 橋 雄 大

出資団体監査の結果について

地方自治法第199条第7項の規定に基づく出資団体監査の結果に関する報告について、同条第9項の規定により提出します。

記

1 監査の対象及び範囲

- (1) 公益財団法人 岡山市シルバー人材センター
- (2) 公益財団法人 岡山市公園協会
- (3) 岡山港埠頭開発株式会社

令和元年度における出納事務及びその他出納に関連する事務

2 監査の実施場所及び期間

監査委員室

令和3年1月4日から令和3年2月26日まで

3 監査の着眼点及び実施内容

前記団体の事業運営が、出資目的に沿って行われているかどうかを主眼とし、抽出した関係書類について、岡山市監査基準に準拠して証憑突合、質問等の手法により監査を実施した。

4 監査の結果

令和元年度における出納事務及びその他出納に関連する事務について、関係書類を監査した結果、いずれの団体も事業運営は出資目的に沿って行われているものと認められた。

また、事務処理については、いずれの団体も改善済みのもの及び今後の処理方法を指導した軽易な事項はあったが、おおむね適正に処理されていた。

なお、今後の処理方法を指導した軽易な事項は、記述を省略した。

各団体の概要は次のとおりである。

(公益財団法人 岡山市シルバー人材センター)

○ 名称及び事務所等

名 称 公益財団法人岡山市シルバー人材センター
事務所所在地 岡山市北区鹿田町一丁目1番1号
設立年月日 昭和53年9月11日

1 設立目的について

定年退職者等の高年齢退職者（以下「高年齢者」という。）の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務（当該業務に係る労働力の需給の状況、当該業務の処理の実情等を考慮して厚生労働大臣が定めるものに限る。）に係る就業機会を確保し、及びこれらの者に対して組織的に提供すること等により、高年齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高年齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

2 事業の実施状況について

令和元年度における主な事業の実施状況は、次のとおりである。

(1) シルバー事業の実績

項目	単位	令和元年度	平成30年度	対前年度比	
会員数	人	1,588	1,597	99.4%	
就業実人員	人	1,184	1,209	97.9%	
就業率	%	74.6	75.7	98.5%	
就業延日人員	人日	143,697	144,625	99.4%	
受注件数	件	17,166	16,971	101.1%	
契約金額	円	701,612,207	680,252,314	103.1%	
内訳	公共	円	225,919,545	215,665,325	104.8%
	一般企業	円	149,481,806	148,570,914	100.6%
	個人・家庭	円	326,210,856	316,016,075	103.2%

(2) 労働者派遣事業の実績

項目	単位	令和元年度	平成30年度	対前年度比
派遣労働者の登録会員数	人	502	499	100.6%
派遣した登録会員の实人員	人	299	305	98.0%
派遣した登録会員の延人員	人日	25,357	24,939	101.7%
受注件数	件	183	155	118.1%
契約件数	件	183	155	118.1%
契約金額（消費税含む）	円	133,266,359	123,339,171	108.0%

(3) 事業の実施状況

① 概要

令和元年度の前半までは、政府の各種政策の効果もあり緩やかな景気の回復基調が続いていたが、後半は消費税増税、新型コロナウイルス感染症の拡大など社会生活に悪影響を及ぼした。

一方、シルバー事業の全体売上は、対前年実績比で3.1%アップを確保できた。令和元年度は比較的穏やかな気候であったことにより、草刈りや剪定作業が前年を上回り黒字の確保が出来た。また、会員数は、駅前で会員増強キャンペーン等を行うなどにより対前年度比99.4%と昨年度並みの会員数を確保した。

② 本市からの事業受託

本市の福祉施策の実現に寄与するため、介護予防・日常生活支援や子育て支援に資する次の事業を受託した。

ア 介護予防・日常生活支援総合事業

要支援1, 2の認定を受けた人と事業対象者の人に生活支援訪問サービス（掃除・洗濯・調理・買物等の家事）を提供し、受注件数49件、契約金額4,209,059円の実績をあげた。

イ シルバー世代産前産後応援事業

子育ての経験を有する会員が、育児・家事援助を必要とする産前産後の世帯について、支援員として家事、育児のサービスを提供し、延べ利用回数997回、延べ利用時間1,800時間、契約金額1,646,544円の実績をあげた。

③ 財務体質の健全化と業務の円滑化

シルバー人材センターの厳しい財務状況を踏まえ、引き続き事務の合理化等による事業経営の健全化を推進し、財務体質の強化と業務の円滑化を進めた。

ア 運転資金の確保と財務体質の強化

継続就業の場合、翌月3日までに就業報告書を提出、10日までに発注者に請求書を送るサイクルを徹底し、未収金の早期回収に努めた。また、未入金者への直接訪問及び内容証明郵便による督促など未入金の発生を防止するための対応に努めた。

イ 新たな就業開拓

民間企業を訪問してセンターの事業の説明を行って、就業機会の開拓に努め、労働者派遣事業などの多様な就業形態に対応した。

ウ 適正な就業機会の提供

会員の就業のミスマッチを解消するため、各支部に対応して設置した事務所・出張所が会員の希望や資格等を把握し、登録会員への効率的な就業機会提供に努めた。また、未就業会員に対しては、就業相談日を設け、参加してもらい、早期の就業提供に努めた。

④ 会員数の拡大

会員増強委員会を中心に、「会員一人が1人の会員を」の目標を掲げ、会員増強活動を行った。10月2日には40数名で、岡山駅東口と西口（さんすて広場）でのチラシ・ティッシュの配布を行い、マスコミにも取り上げられて効果があった。しかし、一方で高齢等による退会会員も多く、前年度比99.4%とほぼ前年度並みの会員数となった。

⑤ シルバー人材センター事業の普及啓発活動の推進

市民と地域社会にシルバー人材センター事業を広く周知し、事業の発展・拡大を図るため、さまざまな機会を通じて普及啓発活動を行った。

ア センター機関誌、リーフレットなどを発行し、会員、関係機関に配布し、シルバー事業への理解と協力を得ることに努めた。

イ 市広報誌に記事を掲載するとともに、報道機関などに適宜情報を提供し、シルバー事業のPRに努めた。

ウ 市内イベント、まつりへ積極的に参加し、チラシ、パンフレットを配布し、シルバー事業のPRに努めた。

⑥ 技能講習・研修会の充実

植木剪定講習、障子張替講習会、草刈機（カルマー）講習会と充実を図り、会員の技術・技能の向上と後継者の育成及び一般市民の参加もいただき新規会員獲得に努めた。

⑦ 情報の収集

シルバー事業の充実、発展を図るため、研修会などを通じ、県シルバー人材センター連合会及び他の政令指定都市シルバー人材センター等の主催する会議に出席し、連携、交流を深め、また、シルバー事業の活動状況の調査、情報の収集に努めた。

3 本市との関係

本財団の基本財産は、5,100万円であり、本市は5,000万円を出資している。
本市以外の出資者は、一般財団法人厚生会100万円である。

4 財務状況について

正味財産増減計算書ほか財務諸表は別紙のとおりで、公益法人会計基準に則して作成されている。

(公益財団法人 岡山市公園協会)

○ 名称及び事務所等

名 称 公益財団法人 岡山市公園協会
事務所所在地 岡山市北区大供一丁目1番1号
設立年月日 昭和57年10月28日（平成25年4月1日に公益財団法人に移行）

1 設立目的及び事業内容について

(1) 設立目的

岡山市内における都市公園等において良好な景観を維持し，市民が快適に利用できるよう運営することにより，公園等機能の増進と，公園文化の創造を推進するとともに都市緑化の普及啓発を行うことをもって，地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。

(2) 公益目的事業

- ア 都市緑化事業基金の造成，管理及び運用による都市緑化助成や普及・啓発を通じた緑化推進を目的とする事業
- イ 指定管理制度等による公共施設の管理及び運営等に関する事業
- ウ 上記ア，イにかかる都市公園等における調査研究，利用促進に関する事業

(3) その他の事業

- ア 公益目的事業に関する附帯事業の経営
- イ その他上記に掲げる事業に関連する事業

2 事業の実施状況について

令和元年度における主な事業の実施状況は，次のとおりである。

(1) 公益目的事業1会計

都市緑化事業基金の造成，管理及び運用による都市緑化助成や普及・啓発を通じた緑化推進に関する事業会計。

ア 緑化基金

公民館等の窓口や百花彩などのイベント開催時に募金箱を設置し，一般市民の協力を得て緑化基金の造成を実施。

令和元年度寄附金収入額276,126円（35件）

	令和元年度（単位：円）				
	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	比率(%)
寄附金	139,810,606	276,126	0	140,086,732	45.6
市出捐金	132,135,869	0	0	132,135,869	43.1
繰入金	34,702,895	0	0	34,702,895	11.3
計	306,649,370	276,126	0	306,925,496	100

イ 緑化事業

(ア) 助成金交付事業

- a 住まいの緑化奨励事業（18件）
- b 緑化推進団体支援事業（7件）
- c 「街かどの緑」保護管理奨励事業（2件）

(イ) 緑化啓発事業

a 教室開催事業

- ・花とみどりの楽校事業（11回，378人参加）
- ・花とみどりの福祉事業（9回，131人参加）
- ・市民公民館講座（16回，194人参加）
- ・親子ガーデニング教室（10回，275人参加）
- ・みどりの講師派遣事業（4回，73人参加）

b 記念・配布事業

- ・結婚・誕生記念樹配布事業（2,245件）
- ・小中学校卒業記念樹事業（6件）
- ・小学校入学祝種子配布事業（94校，6,880個配布）

(ウ) 地域緑化事業

a 緑化推進リーダー育成事業（登録者数125人）

- ・緑化推進課（12回，132人参加）
- ・岡山市半田山植物園（11回，60人参加）
- ・西大寺緑化公園百花プラザ（3回，30人参加）
- ・操山公園里山センター（4回，24人参加）

b 新規緑化推進リーダー養成講座（10回，15人参加）

c 緑化ボランティアグループ支援事業（36グループ）

d 草花及び草花種子の配布（花いっぱい運動協賛事業）（3団体）

e 市民協働花壇づくり事業（6件）

f グリーンバンク事業（42件）

(エ) イベント事業

「第46回春の花いっぱい運動」，「花・緑ハーモニーフェスタin西川」，「西川緑道公園パークウォッチング」，「みどりの日事業」，「西川緑道公園・枝川緑道公園内花壇植栽」，「西川・キッズ・夏物語2019」，「緑の写生大会」，「緑化月間協賛事業」，「協会緑化PR展」，「市役所玄関ロビーおもてなし寄せ植え設置」

(2) 公益目的事業2会計

指定管理制度等による公共施設の管理及び運営等に関する事業会計。

ア 岡山市指定管理事業

(ア) 浦安総合公園管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
浦安総合公園東地区	158,406人	83.9%
総合文化体育館	90,190人	78.3%
浦安野球場	4,325人	68.7%
浦安テニスコート	63,891人	94.8%
浦安総合公園東地区駐車場	244,601台	99.1%
浦安総合公園西地区	50,050人	109.3%
浦安西地区研修室	1,007人	43.9%
西地区入園者	499,043人	109.6%
浦安総合公園西地区駐車場	159,005台	111.6%

※総合文化体育館：平成30年11月から令和元年8月まで耐震改修工事

[自主事業実績]

施設名	上半期	下半期	年間計
浦安総合公園西地区	15回	11回	26回

[その他の事業]

- ・緑化4施設協働事業（緑化推進課，半田山植物園，西大寺緑化公園百花プラザ，操山公園里山センターの特色を生かし，講座や協会のPRを実施）
- ・花と緑の相談所（利用件数276件）
- ・体験実習受け入れ（職場体験1校）

(イ) 半田山植物園管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
半田山植物園	56,439人	102.5%
有料入園者	24,350人	106.0%
無料入園者	32,089人	100.0%
半田山植物園駐車場	18,732人	94.0%

[自主事業実績]

施設名	上半期	下半期	年間計
半田山植物園	19回	16回	35回

[その他の事業]

- ・登録ボランティア活動（登録者数61人）
- ・緑の相談室（利用件数384件）
- ・体験実習受け入れ（学芸員実習1校）
- ・年間パスポートの発行（370枚）

(ウ) 山田グリーンパーク管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
山田グリーンパーク	23,882人	107.9%
テニスコート	8,990人	119.6%
野球場	6,380人	98.2%
サッカー場兼ソフトボール場	5,299人	108.7%
ローラースケート場	3,213人	99.2%

(エ) 操山公園管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
操山公園里山センター	50,306人	103.4%
多目的ホール	2,077人	85.1%
研修室	207人	69.2%
会議室	1,958人	94.9%
一般来館者	46,064人	105.0%

[自主事業実績]

施設名	上半期	下半期	年間計
操山公園里山センター	43回	28回	71回

[その他の事業]

- ・登録ボランティア活動（登録者数125人）
- ・体験実習受け入れ（インターンシップ2校，職場体験3校，保護観察受入1所，社会貢献活動1校）
- ・産官学取組事業（里山レンジャー登録会員数35人，イベント参加人数302人）

(カ) 六番川水の公園管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
六番川水の公園	86,143人	89.8%
体育館	49,682人	93.3%
多目的広場	24,932人	80.2%
テニスコート	11,539人	99.3%

(カ) 百間川緑地管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
百間川緑地	149,751人	244.4%
軟式野球場	7,151人	226.0%
ソフトボール場	7,380人	227.5%
テニスコート	21,178人	327.7%
サッカー・ラグビー場	17,029人	278.5%
サッカー場	7,189人	331.1%
無料施設	89,824人	223.9%

※令和元年6月から一部の施設を除いて全施設利用再開（豪雨災害による中止）

[自主事業実績]

施設名	上半期	下半期	年間計
百間川緑地	0回	1回	1回

(キ) 西大寺緑化公園管理運営

[利用状況]

施設名	利用者数	前年度比
西大寺緑化公園・百花プラザ	347,890人	97.8%
多目的ホール・控室	42,613人	91.0%
美術工芸室	4,403人	139.5%
実習室	2,796人	85.8%
研修室1	9,169人	84.9%
研修室2	7,693人	81.7%
みどりの相談室	8,954人	87.2%
実技室	11,587人	89.9%
会議室	5,512人	82.7%
ふれあいルーム	6,230人	110.4%
和室1	1,177人	102.7%
和室2	2,784人	78.9%
その他来館者	10,286人	90.6%
緑の図書室	234,686人	101.6%

〔自主事業実績〕

施設名	上半期	下半期	年間計
西大寺百花プラザ	25回	26回	51回

〔その他の事業〕

- ・登録ボランティア活動（登録者数18人）
- ・緑の相談窓口（利用件数121件）
- ・体験実習受け入れ（職場体験1校，社会貢献活動1校，現場実習1校）
- ・西大寺緑化公園サポーターズ（ガーデン・イルミネーションIN西大寺2019等を開催）

(ク) 灘崎町総合公園管理運営

〔利用状況〕

施設名	利用者数	前年度比
灘崎町総合公園	92,178人	90.5%
多目的広場	43,264人	84.0%
フットサルコート	25,994人	105.9%
テニスコート	10,599人	98.0%
その他施設利用者	12,321人	82.2%

〔自主事業実績〕

施設名	上半期	下半期	年間計
灘崎町総合公園	1回	1回	2回

〔その他の事業〕

- ・登録ボランティア活動（登録者数31人）
- ・体験実習受け入れ（社会貢献活動3校）
- ・岡山市・地域町内会との共同事業（5事業）

イ 岡山市受託事業

- (ア) 岡山市立浦安総合公園図書館空調管理業務
- (イ) 保存樹調査診断業務
- (ウ) 公園樹木調査診断業務
- (エ) 山田グリーンパーク野球場グラウンド・防球ネット維持管理業務

ウ その他事業

- (ア) 社会貢献
 - 障害者就労施設からの物品購入等を実施（4,431,208円購入）
- (イ) 講師派遣
 - 岡山市及びその関連団体等に講師を派遣（5回，約308人参加）
- (ウ) お客様の声（アンケート他）
- (エ) 事件・事故への対応

(3) 収益事業等会計

市民の健康維持，余暇の活用，市民交流を図ることを目的としたスポーツ教室の開催や，施設利用者の向上を図るための自動販売機・物品販売，スポーツ用具貸出等を行う事業会計。

- ア 朝顔市等事業（1回，150鉢）
- イ スポーツ教室等の開催（355回，7,386人参加）

ウ 付帯事業

(ア) 公衆電話設置 (2施設, 2台)

(イ) 自動販売機設置 (8施設, 45台)

(ウ) 物品販売等事業 (9施設に於いて植物の苗・土等の販売, スポーツ用品等の貸出)

(4) 法人会計

財団の運営並びに基本財産の造成, 監理, 運用を行う会計。

ア 基本財産

	令和元年度 (単位: 円)				
	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	比率 (%)
市出資金	57,000,000	0	0	57,000,000	50
協会積立金	57,000,000	0	0	57,000,000	50
計	114,000,000	0	0	114,000,000	100

イ 内部管理 (人事制度, 情報共有化, 組織力強化, 事業継続計画, システム化推進等)

ウ 半田山植物園諮問委員会の設置

エ 職員研修会の実施

オ 図上防災訓練の実施

カ 外部研修会への参加

3 基本財産の状況について

令和2年3月31日現在の基本財産は114,000,000円 (うち令和元年度出資金0円) で, 岡山市出資金は57,000,000円 (出資比率50%), 協会積立金57,000,000円である。

運用の内訳は, 国債 (SMBC日興証券岡山支店66,614,696円, みずほ証券岡山支店23,690,804円, 大和証券岡山支店23,694,090円), 定期預金 (中国銀行岡南支店410円) である。

4 決算状況について

令和元年度の貸借対照表, 正味財産増減計算書及び収支計算書は, 表1, 表2及び表3のとおりである。

表 1

貸借対照表

令和2年3月31日現在

科 目	公益目的事業会計			収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	公益目的事業 1 会計	公益目的事業 2 会計	小 計				
I 資産の部							
1. 流動資産合計	56,469,004	326,390,111	382,859,115	103,006,315	42,920,534	△160,825,682	367,960,282
2. 固定資産合計	306,925,496	165,615,569	472,541,065	624,900	117,329,062	0	590,495,027
(1) 基本財産	0	0	0	0	114,000,000	0	114,000,000
(2) 緑化基金	306,925,496	0	306,925,496	0	0	0	306,925,496
(3) 特定資産	0	158,462,171	158,462,171	552,900	3,329,059	0	162,344,130
(4) その他固定資産	0	7,153,398	7,153,398	72,000	3	0	7,225,401
資産合計	363,394,500	492,005,680	855,400,180	103,631,215	160,249,596	△160,825,682	958,455,309
II 負債の部							
1. 流動負債合計	49,680,998	236,694,199	286,375,197	13,776,170	41,030,606	△160,825,682	180,356,291
2. 固定負債合計	5,376,376	118,171,655	123,548,031	544,984	543,405	0	124,636,420
負債合計	55,057,374	354,865,854	409,923,228	14,321,154	41,574,011	△160,825,682	304,992,711
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産合計	306,925,496	0	306,925,496	0	57,000,000	0	363,925,496
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(57,000,000)	(0)	(57,000,000)
(うち緑化基金への充当額)	(306,925,496)	(0)	(306,925,496)	(0)	(0)	(0)	(306,925,496)
2. 一般正味財産合計	1,411,630	137,139,826	138,551,456	89,310,061	61,675,585	0	289,537,102
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(57,000,000)	(0)	(57,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(36,679,810)	(36,679,810)	(552,900)	(475,000)	(0)	(37,707,710)
正味財産合計	308,337,126	137,139,826	445,476,952	89,310,061	118,675,585	0	653,462,598
負債及び正味財産合計	363,394,500	492,005,680	855,400,180	103,631,215	160,249,596	△160,825,682	958,455,309

表 2

正味財産増減計算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

科 目	公益目的事業会計				収益事業等 会計	法人会計	合 計
	公益目的事業 1 会計	公益目的事業 2 会計	公営事業共通	小 計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益	43,338,680	540,416,881		583,755,561	16,487,097	1,865,601	602,108,259
(2) 経常費用	44,323,619	544,819,505		589,143,124	8,967,381	2,348,753	600,459,258
(3) 評価損益等	0	0		0	0	0	0
当期経常増減額	△984,939	△4,402,624		△5,387,563	7,519,716	△483,152	1,649,001
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0		0	0	2	2
当期経常外増減額	0	0		0	0	△2	△2
他会計振替額			3,742,251	3,742,251	△3,742,251	0	0
法人税・住民税及び事業税			0	0	1,051,900	0	1,051,900
当期一般正味財産増減額			△1,645,312	△1,645,312	2,725,565	△483,154	597,099
一般正味財産期首残高			140,196,768	140,196,768	86,584,496	62,158,739	288,940,003
一般正味財産期末残高			138,551,456	138,551,456	89,310,061	61,675,585	289,537,102
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額			276,126	276,126	0	0	276,126
指定正味財産期首残高			306,649,370	306,649,370	0	57,000,000	363,649,370
指定正味財産期末残高			306,925,496	306,925,496	0	57,000,000	363,925,496
III 正味財産期末残高			445,476,952	445,476,952	89,310,061	118,675,585	653,462,598

表 3

収 支 計 算 書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

科 目	公益目的事業会計			収益事業等 会計	法人会計	合 計
	公益目的事業 1 会計	公益目的事業 2 会計	小 計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入	43,614,806	540,416,881	584,031,687	16,487,097	1,865,601	602,384,385
2. 事業活動支出	43,680,919	539,020,332	582,701,251	8,955,952	2,315,903	593,973,106
小 計	△66,113	1,396,549	1,330,436	7,531,145	△450,302	8,411,279
法人税等の支払額	0	0	0	△1,051,900	0	△1,051,900
事業活動収支差額	△66,113	1,396,549	1,330,436	6,479,245	△450,302	7,359,379
II 投資活動収支の部						
1. 投資活動収入	0	694,000	694,000	0	0	694,000
2. 投資活動支出	276,126	4,875,003	5,151,129	0	657,000	5,808,129
投資活動収支差額	△276,126	△4,181,003	△4,457,129	0	△657,000	△5,114,129
III 財務活動収支の部						
1. 財務活動収入	684,148	3,058,103	3,742,251	△3,742,251	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	684,148	3,058,103	3,742,251	△3,742,251	0	0
当期収支差額	341,909	273,649	615,558	2,736,994	△1,107,302	2,245,250
前期繰越収支差額	6,501,532	89,855,535	96,357,067	85,945,092	2,504,291	184,806,450
次期繰越収支差額	6,843,441	90,129,184	96,972,625	88,682,086	1,396,989	187,051,700

(岡山港埠頭開発株式会社)

○名称及び事務所等

名 称	岡山港埠頭開発株式会社
事務所所在地	岡山市南区築港元町 8-50
設立年月日	昭和 42 年 6 月 2 日
資 本 金	2,200 万円

1 団体の目的及び事業内容

提出された監査資料に記載された事前質問表、会社の概要及び事業計画書・事業報告等から次の目的・内容を確認した。

(1) 設立目的

港湾管理者である岡山県と協調して、船舶用給水、荷役施設、船員作業員の休憩所等の管理業務を行うことにより、岡山港の利用者への便宜を図り、岡山港の発展、ひいては地域の発展に寄与することを目的とする。

(2) 事業内容 (事業年度 4/1~3/31)

・事業第一部

<総務・経理及び社屋管理業務>

①総務・経理業務 (以下を含む)

②社屋の維持管理及び事務室賃貸料・駐車場使用料等の徴収他

<事務局業務>

中国地方港運協会岡山支部 中国港湾福利厚生協会岡山支部

中国港湾労災防止協会岡山分会 岡山清港会 岡南工業地区整備促進協議会

<港湾福利厚生協会の施設管理業務>

岡山港湾福祉センター 高島第一休憩所

・事業第二部

<港湾施設指定管理者業務>

①港湾施設の利用認可及び利用料金の徴収

②船舶給水設備の管理及び給水料金の徴収

③港湾エリアの巡回 (2回/日) 及び不正使用等への指導

④港湾緑地の整備他

2 役員及び従業員

提出された監査資料に記載された事前質問表、会社の概要及び事業計画書・事業報告等から次の内容を確認した。

(1) 役員及び従業員

①役員

代表取締役社長 1名 (非常勤 任期2年)

取締役 9名 (非常勤 (常勤1名) 任期2年)

監査役 2名 (非常勤 任期4年)

②従業員

取締役兼務 1名 他従業員 4名

(2) 取締役会及び株主総会の開催状況

令和元年 5月22日 定時株主総会開催

令和元年 5月22日 第1回取締役会開催

令和元年 8月 9日 第2回取締役会開催
 令和元年11月28日 第3回取締役会開催
 令和2年 2月 6日 第4回取締役会開催
 令和2年 4月24日 第5回取締役会開催

3 株式状況（非公開会社）

提出された監査資料に記載された会社の概要等から次の内容を確認した。

- ①授権株式数 120,000株
- ②発行済株式数 44,000株
 - 岡山市 14,000株（31.8%）
- ③資本金 22,000,000円
 - 岡山市出資金 7,000,000円

	株主	持株数(株)	出資金(円)	割合(%)
1	岡山市	14,000	7,000,000	31.8
2	(株)岡山臨港	11,000	5,500,000	25.0
3	岡山県	8,000	4,000,000	18.2
4	三井製糖(株)	2,000	1,000,000	4.5
5	岡山港湾運送(株)	1,960	980,000	4.5
6	岡山ガス(株)	1,800	900,000	4.1
7	(株)河合組回漕店	1,320	660,000	3.0
8	日本通運(株)	1,100	550,000	2.5
9	両備ホールディングス(株)	860	430,000	2.0
10	玉島海運(株)	660	330,000	1.5
11	(株)木村商会	600	300,000	1.4
12	中国精油(株)	300	150,000	0.7
13	ライフオス(株)	200	100,000	0.5
14	岡山海運(株)	100	50,000	0.2
15	下電運輸(株)	100	50,000	0.2
	合計	44,000	22,000,000	

(注) 表中、割合の数値は、表示の1桁下位で四捨五入した。

4 令和元年度決算における経営状況

提出された監査資料に添付された決算報告書から次の内容を確認し、総勘定元帳、現金出納簿、元帳等を監査した結果、決算資料は会計諸帳簿の内容に基づいて適正に記載されていた。

(1) 令和元年度末の貸借対照表の前年度比較の概略は次のとおりである。

令和2年3月31日現在

資 産 の 部				
科 目	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
流 動 資 産	247,229,944	298,227,546	△50,997,602	82.9
現金及び預金	247,220,229	298,218,423	△50,998,194	82.9
未 収 入 金	9,715	9,123	592	106.5
固 定 資 産	20,254,818	9,969,858	10,284,960	203.2
有形固定資産	20,219,368	9,934,408	10,284,960	203.5
無形固定資産 (電話加入権)	30,300	30,300	0	100
投資その他資産 (預 託 金)	5,150	5,150	0	100
資 産 の 部 計	267,484,762	308,197,404	△40,712,642	86.8

負 債 の 部				
科 目	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
流 動 負 債	66,031,467	121,326,400	△55,294,933	54.4
未 払 金	99,888	239,623	△139,735	41.7
未 払 費 用	60,208,938	115,186,070	△54,977,132	52.3
前 受 金	0	54	△54	—
預 り 金	779,341	768,453	10,888	101.4
未払法人税等	3,365,900	3,110,400	255,500	108.2
未払消費税	1,577,400	2,021,800	△444,400	78.0
固 定 負 債	3,882,000	3,802,000	80,000	102.1
負 債 の 部 計	69,913,467	125,128,400	△55,214,933	55.9
純 資 産 の 部				
株 主 資 本	197,571,295	183,069,004	14,502,291	107.9
資 本 金	22,000,000	22,000,000	0	100
利益剰余金	175,571,295	161,069,004	14,502,291	109.0
利益準備金	220,000	220,000	0	100
別途積立金	120,000,000	110,000,000	10,000,000	109.1
繰越利益剰余金 (うち当期純利益)	55,351,295 (14,502,291)	50,849,004 (14,170,247)	4,502,291 (332,044)	108.9 (102.3)
純 資 産 の 部 計	197,571,295	183,069,004	14,502,291	107.9
負債・純資産の部計	267,484,762	308,197,404	△40,712,642	86.8

(2) 令和元年度の損益計算書の前年度比較の概略は次のとおりである。

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科 目	当 期	前 期	増 減	前期比
	円	円	円	%
売上総利益	184,572,101	186,993,409	△2,421,308	98.7
販売費及び一般管理費	163,756,407	166,812,318	△3,055,911	98.2
営業利益	20,815,694	20,181,091	634,603	103.1
営業外収益	128,196	141,361	△13,165	90.7
経常利益	20,943,890	20,322,452	621,438	103.1
特別損失	1	0	1	—
法人税・住民税・事業税	6,441,598	6,152,205	289,393	104.7
当期純利益	14,502,291	14,170,247	332,044	102.3

(3) 令和元年度の部門別総括表の概略は次のとおりである。

(単位：円)

内 容	岡山港埠頭部門	指定管理部門	内部取引	全 体
総売上高	15,276,620	176,390,881	△7,095,400	184,572,101
販売費及び一般管理費	6,769,835	167,032,390	△10,045,818	163,756,407
人件費	3,738,710	18,661,734	0	22,400,444
一般管理費	3,031,125	148,370,656	△10,045,818	141,355,963
営業利益	8,506,785	9,358,491	2,950,418	20,815,694
営業外収益	3,078,614	0	△2,950,418	128,196
経常利益	11,585,399	9,358,491	0	20,943,890
特別損失	1	0	0	1
法人税・住民税・事業税	1,579,082	4,862,516	0	6,441,598
当期純利益	10,006,316	4,495,975	0	14,502,291

(4) 令和元年度の株主資本等変動計算書の概略は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期首残高	当期変動額	当期末残高
株主資本合計	183,069,004	14,502,291	197,571,295
資本金	22,000,000	0	22,000,000
利益剰余金	161,069,004	14,502,291	175,571,295
利益準備金	220,000	0	220,000
その他利益剰余金	160,849,004	14,502,291	175,351,295
・別途積立金	110,000,000	10,000,000	120,000,000
・繰越利益剰余金	50,849,004	4,502,291	55,351,295
(別途積立金へ振替)		(△10,000,000)	
(当期純利益)		(14,502,291)	
純資産合計	183,069,004	14,502,291	197,571,295